

写友会 便り

NO.10 祝卒業号

ロゴ 60P 隅田真悠
挿絵 41P KOTSU



発行日：令和3年3月4日
発行者：大阪市立工芸高等学校内 写友会
大阪市阿倍野区文の里1-7-2
06-6623-0462

映像デザイン科六十二期生の皆様

ご卒業おめでとうございます。入学以来この三年間、毎日の授業をはじめ、学校行事、部活動そして進路実現等に取り組み、心身ともに大きく成長された、これまでのたゆまぬ努力と精神に対し、深い敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

さて、今回の新型コロナウイルスのパンデミック(世界大流行)について、皆さんは思いもかけぬ大きな出来事が起こったと感じているのではないのでしょうか。しかし、こうした大流行は専門家のなかではかねてから警鐘が鳴らされてきました。

そもそも、感染症の世界大流行は人類の歴史の中で何度も繰り返されてきた出来事で、ちょうど100年前にも、いわゆる「スペイン風邪」と呼ばれる新型インフルエンザの非常に大きな世界大流行がありました。当時の世界の人口は約18億人でしたが、その1/3の6億人ほどが感染し、数千万人が死亡したと伝えられています。また、この大流行は第二波、第三波があり、終息までに2年ほどかかり、日本でも大きな流行がありました。

今回のパンデミックも、ウイルスこそ異なりますが、このスペイン風邪の出来事によく似ています。つまり感染症の大流行も、大地震などの天災と同様に、必ず起こりうる出来事の一つだったということが出来ます。そしてそれは、人類が乗り越えなければならない、大きな試練の一つでもあります。

今回の大流行で、我々が想定していたよりはずっと早く、急速に社会の変革が始まり、そして、この後も、今までの社会と同じスタイルに戻ることはきつとないでしょう。

私たちはいろいろな試練に立たされています。しかし、それは新しい社会に向けての大きな変化ですから、これを乗り越えていってほしいと思います。

さて、皆さんの輝かしい門出にあたり、私から三つのことを伝えたいと思います。

一つ目は「知的好奇心を生涯持ち続けてほしいこと」です。知的好奇心は創造力の源です。ぜひ専門にこだわらず、さまざまなことに好奇心をもってください。

二つ目は「学び続けてほしいこと」です。継続は力ですし、どんなときにも学ぶことはたくさんあるものです。

そして三つ目は「皆さんが抱いている夢を生涯忘れないでほしいこと」です。それは皆さんがこれから生きていく上の道しるべにもなるでしょう。

卒業後にどんな道に進むとしても、どうか「自律と創生」を胸に刻み、自分自身でよく見聞きし、事実を自分で見きわめて判断しながら、「知的好奇心」をもって「学び続けること」を忘れず、自身の「夢」に忠実に進んで、未来への一歩を踏み出してください。さらには皆さんの後に続く未来の学生たちの目標ともなっていくべきことを、心から願っています。

どうか、一人の人間として、社会の中でしっかりと立ち、自分を信じ、自分の道を生きてください。

写友会は、いつも皆さんを応援しています。

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科十七期
写友会会長 杉野 讓

写友会とは、大阪市立工芸高等学校の写真工芸科(1957〜1992)映像デザイン科(1993〜)卒業生と職員・旧職員の皆さんで構成される同窓会組織です。

本日ご卒業される皆さんは、いよいよ私たち写友会の仲間となります！

『写真・映像を通じて母校の発展と社会貢献に寄与することを目的としています。(写友会ホームページより抜粋)』とありますが、中心メンバーには写真・映像のプロも居れば、映像とは全く別の分野で活躍されている方もたくさんいらっしゃいます。

近年、夏の作品指導や工芸展での写友会アワードなど、在校生の皆さんと接する機会も少しずつ増えてきた写友会ですが、今年度は皆さんの支えになるような活動が思うように出来ず、もどかしい一年となりました。

しかし、こんな時だからこそ、せっかく同じ学舎で日々を過ごして来たのだから、卒業して終わりじゃもったいない！

かわいいうちの応援をしながら、写真・映像の事でも、それ以外のいろんな事でも、お互い助け合える仲間になればと思っています。

卒業生の皆さんと一緒にできることを、写友会一同楽しみにしております！

大阪市立工芸高等学校
写真工芸科・映像デザイン科同窓会
写友会
kogeisyayukai.com



ぜひ一度見に来て
くださいね♪



卒業生にはこんな方も…

45期(2004年卒)ながいゆいさんは、心斎橋や梅田の百貨店で度々イベントが開かれる『ことり男子』が大人気のイラストレーターです。写友会のために描きおろして下さった工芸高校の制服を着たことり男子は、在校生応援プログラムのグッズにもデザインされています。

これからも走り続けてください！

映像デザイン科六十二期生のみなさんご卒業おめでとうございます。そして写友会へようこそいらっしゃいました！

まずは、3年間の高校生活を毎日支えてくださったご両親や周りの方々に感謝してお礼の言葉を伝えましょう。皆さんが3年生として過ごした2020年は新型コロナウイルスに翻弄された一年で、学校生活や家庭での暮らしも大きく変化させられたことかと思えます。そして2021年になっても、収束が見えない不透明な状況ですが、進学される方、就職される方も前を向き、止まることなく、人生を謳歌してください。

私の経験上の話ですが、今からの5年間とはとても楽しい時間になるはずですよ。物理学者のアインシュタインは「人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走り続けなければならぬ」と語ったそうです。まさに皆さんにあてはまる言葉ではないかと思えます。

映像デザイン科で学んだ知識、3年間一緒に過ごした友達との友情や先生方との経験はこれからの人生を走っていくために助けになってくれると思います。これからの人生を走りながら身に付けた自信や経験を写友会の活動を通じて映像デザイン科の後輩たちに伝えていってあげてください。そして、映像デザイン科が何年先までも続くように写友会への参加と、皆さんのお手伝いをいただけることを心よりお待ちしております。

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科二十七期
写友会副会長 小川 広幸

映像デザイン科の六十二期生の皆さん

ご卒業おめでとうございます！

みなさんが過ごしてきた高校生活の3年間、あたりまえだった毎日のお弁当や洗濯物など何気ない日常を不自由なく支えてくれたご両親、保護者の方々に先ずは感謝してください。

これからはそれぞれの道で新しい世界への期待や不安、様々な未経験なことがあるかと思いますが、その道はひとりだけじゃなく、そこには工芸の先輩たちが通った道が必ずあります。先輩たちは様々なところで、カメラマンやVTR・CGの映像クリエイターに留まらず、漫画家や声優、キャラクターデザイナーなど多方面でその才能を発揮しています。また映像デザイン科同窓会の「写友会」があります。新生活がスタートしてしばらくは余裕もないとは思いますが、「写友会」に参加し後輩たちに指導や経験を伝えるだけじゃなく、悩むことがあれば先輩方に遠慮なく、いろんな相談もしてください！そこには「工芸会」「写友会」という大きな家族があります(笑)

また、昨年から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大によりさまざまな生活様式が変わり、みなさんも進学や就職に大変苦労されたと思います。

今年はコロナ対策の切り札としてワクチンの接種も始まり終息に向けた期待も高まっています。さらには7月には延期になっていた東京五輪・パラリンピックも開催される予定で聖火リレーも始まります。

これからの新生活も、どんなことでもそうですが出口のないトンネルはありません！自分が選んだ道をどう生きるか？どっちの道を選んでも正解！自己を直視して真っ正直に！

前途洋々たる未来に幸多きことを祈ります！

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科二十三期

写友会副会長 田浦真一



皆さんとはお会いできませんでしたが、会長・副会長はじめ、少数精鋭でじっくり審査しました！



審査の様子

もっとたくさんの人に観て欲しいとおもう作品ばかりでした。



2021年1月30日(土)と31日(日)、第73回工芸高校展が入場者を制限して開催されました。毎年映像デザイン科の学生作品を対象に、プロの現場でご活躍されている写友会会員より選出した審員と、工芸会会長の中西 州さんとが選考する「写友会アワード」。今年は審査から表彰まで生徒の皆さんの顔を見られないままになってしまい、とても寂しく残念でした。しかし、今回も個性的な作品が数多くあり、私たちも刺激をたくさんもらうことができました。このアワードが、少しでも皆さんの作品制作の励みになっていればと会員一同願っています。各部門賞については、以下のとおりです。

◇写真部門

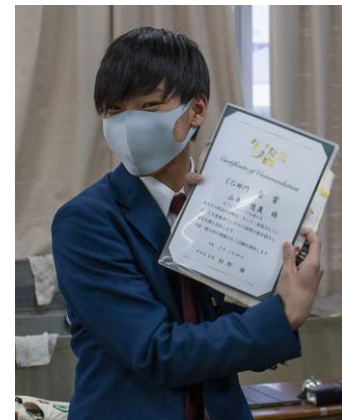
- 金賞 2年 濱口 昌太『正解』
- 銀賞 2年 竹田 奈津『movement』
- 銅賞 3年 長町 逸大『廃れる街並み』



写友会アワード2021

◇映像部門

- 金賞 2年 陰地・管田・鈴木・炭井・榎原・河村(PD科)『ピザポテト CM』
- 銀賞 3年 濱崎 多恵 『MARGARET HOWELL』
- 銅賞 3年 本多 咲人 『2020 謎からの逃走』



◇工芸会長賞

高橋 聖『遊び心』



◇奨励賞 全て1年

- 九河 里緒『影の色』
- 北口 一香『光った』
- 広川 紗南『レトロ』
- 平内 陶子『瞳』
- 山本 響子『影』



◇CG部門

- 金賞 2年 山本 悠晟 『色づくキャンパスは僕の色』
- 銀賞 2年 炭井 逸暉 『SAHEL(サヘル)』
- 銅賞 2年 原田 真鈴 『きみとわたしとこれからも。』